

## 平成26年度第3回花巻市立図書館協議会 会議録

1 期 日 平成27年2月26日（木）午前10時～午前11時50分

2 場 所 花巻図書館 1階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員

市川 浜委員、門馬 優子委員、高橋 則子委員、日下 明久美委員、  
坂本 知彌委員、佐藤 三恵子委員、白藤 祐三委員、佐藤 寧委員  
(計8名)

(2) 事務局

花巻図書館長 佐々木 昭司、大迫図書館長 多田 広美、石鳥谷図書館長  
小原 茂隆、東和図書館長 菅野 和、花巻図書館副館長 佐藤 純一、  
花巻図書館業務係長 吉田 郁子、石鳥谷図書館上席主任 菊池 桂

4 欠席委員 阿部 祐基委員、和田 政男委員、佐々木 さつき委員 (計3名)

5 傍聴者 1名

6 会議の概要

・会議成立の報告 (佐藤花巻図書館副館長)

11名中8名出席。出席委員が構成員の過半数を超えているので、図書館協議  
会規則第7条により成立することを報告

(1) 開 会 (佐藤花巻図書館副館長)

ただ今から、平成26年度第3回花巻市立図書館協議会を開会いたします。よろしくお願  
いいたします。

(2) 会長あいさつ (坂本 知彌会長)

皆様、おはようございます。新図書館の整備について、今まだ明るい日差しが見えてい  
ない状況ではありますが、まずは今ある図書館をより良いものにするために、皆様のご  
意見をたくさん頂戴したいと思いますので、よろしくお願いたします。

(3) 議 事 (図書館協議会規則第6条により坂本会長が議長となる。)

(1) 平成26年度花巻市立図書館事業実施状況について

- ・平成26年度で実施した各館共通事業のブックスタート及びブックスタートプラス、こ  
ども読書くらぶ、子ども映画会について、花巻図書館 吉田業務係長から説明
- ・各4館の事業実施状況については、各館から実施状況を説明

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

ただ今、実施状況について各館から説明をいただきましたが、このことについてご質問等ありませんでしょうか。

(佐藤 寧委員)

図書館への寄贈についてですが、図書館に書籍、CD、映像作品などを寄付、寄贈する場合に全国的な決まりなどがあるのでしょうか。十数年前に住んでいたところの図書館にビデオを寄贈しようとしたら、著作権があるので寄贈は受けられないと言われましたが、何かそのようなルールがあるのでしょうか。

(菅野東和図書館長)

図書館で貸出しする場合には、個人貸出しであっても上映権がついていることが前提となります。以前に「おしん」46巻のビデオの寄付の相談を受けたことがあります。残念ながら著作権、上映権上寄付いただくことができませんでした。なお、個々によって受入れ条件が違うことがありますので、その際はご相談いただければと思います。

(白藤 祐三委員)

石鳥谷図書館の企画にはいいものがたくさんありますが、その中で「実はすごい！石鳥谷の匠展」は図書館独自の企画で実施しているのでしょうか。また、市民ギャラリー一展は各団体が希望して行っているものか、あるいは図書館で依頼して実施しているものか、実態をお知らせ願います。

(菊池石鳥谷図書館上席主任)

「実はすごい！石鳥谷の匠展」については、石鳥谷図書館独自で実施しています。これについては、図書館で石鳥谷地域内において実際にどのように仕事をされているかという情報を探し、その中から1ヶ月スパンで展示するものをこちらから依頼して、取材をして資料を作り、展示をしているものです。今は八日市でお雛様を作っている方を展示しているところで、この次はお菓子を作っている方を予定しています。市民ギャラリー一展は、図書館で展示を希望する方を募集しまして、共催の形をとって実施していますが、実際の展示は利用者の方にお願ひし、資料作り等でお手伝いしています。

(小原石鳥谷図書館長)

市民ギャラリー一展でも、前に行った淵沢能恵展については、紙芝居の原画や資料のパネルを展示して淵沢能恵にスポットをあてた企画展を石鳥谷図書館主催で実施するなど、ケースバイケースで、図書館独自のものや利用者の方が実施するものを織り交ぜて実施しています。

(菊池石鳥谷図書館上席主任)

図書館独自のものを行うときは、利用者の希望がないギャラリーの空いている期間を使って、石鳥谷図書館で所蔵しているものや、独自で企画したものを展示しています。

(白藤 祐三委員)

東和図書館の企画展で「東日本大震災—あの日を忘れない」は実行委員会のような形にしないといけないようなものだったのでしょうか。

(菅野東和図書館長)

できないわけではありませんでしたが、岩手生き生き支援財団から年間の活動として助成を受けた地域ボランティア団体等と実行委員会の形を取り、他の事業実施期間と重ねて実施することにより、より多くの来場者も見込め、相乗効果もあると考え、実行委員会形式で実施した

ものです。

(坂本 知彌会長)

実行委員会形式で実施すると、多くの方々を巻き込むことにもなるので、PR効果も大きいですね。

ところで、石鳥谷図書館の「実はすごい！石鳥谷の匠展」のいちご栽培とパン作品は、行ってみたかったなと思いましたが、このような企画を石鳥谷以外の人を知る機会がなかなかないように感じました。ぜひ広報の新着情報の欄をうまく活用し、このような企画展を紹介したり、報道機関の方に事前に来てもらって新聞に掲載していただくなど上手にPRしていただければと思います。

(小原石鳥谷図書館長)

1ヶ月スパンのこのような企画は、今回初めてで、実際実施してみて短いような感じもするので、ゆっくり見ていただけるよう2ヶ月くらいの期間にすることを考えています。またPRも広報での周知や報道機関への事前連絡等いろいろな方法を使ってお知らせしていきたいと思います。

(坂本 知彌会長)

各館でもいろいろと工夫して企画されておりますが、来場者や参加者が少ないことが悩みの種になっていることが背後に見受けられますので、実行委員会形式にするとか、事前のPRにもっと力を入れるなどいろいろな方法を考えていただきたいです。

また、ボランティアの協力も大きいと思います。花巻図書館でもボランティアが独自で活動していますが、その活動については資料の紙面の関係で載っていませんが、ボランティアとの協力も必要ではないかと思っています。お互いに協力し合うことでより図書館が生き生きとなっていくと思います。

実施状況についてほかにありませんか。なければ次に移りたいと思います。

議題の(2)平成27年度花巻市立図書館運営方針(案)について、説明をお願いします。

(2)平成27年度花巻市立図書館運営方針(案)について

- ・ 来年度の花巻市立図書館運営方針について、基本方針、重点目標及びサービスの内容検討は佐々木花巻図書館長から、各館の重点事項については、各館の図書館長から資料に基づいて説明した。

## 【質 疑】

(坂本 知彌会長)

平成27年度の運営方針(案)について説明をいただきましたが、このことについて何かご質問、ご意見等ありませんでしょうか。

(佐藤 寧委員)

古文書のマイクロフィルムのデジタル化についてですが、マイクロフィルムリーダーが古くなったとのことですが、新しいものは手に入るのでしょうか。

(佐々木花巻図書館長)

マイクロフィルムリーダーは、現在でも販売されております。購入には250万から260

万くらい掛かります。デジタル化にあたっては、マイクロフィルムリーダーとデジタル化の比較検討も行ったわけですが、価格的にはどちらも同じくらい掛かり決して安くはないわけですが、将来的にはデジタル化することによって、パソコンで気軽に閲覧でき、データも拡大、縮小できるなど利便性が高いことから、データ化することとしたものです。

(佐藤 寧委員)

マイクロフィルムをデジタル化するには、画素数の多いスキャナーで1枚1枚読み込むとデジタル化できますよね。今回のデジタル化は、そのようにして行うのですか。

(佐々木花巻図書館長)

そのようにしてもできるようですが、今回は専門業者に委託してデジタル化することとしています。

(坂本 知彌会長)

平成27年度は1万コマのようですが、それ以降も年次計画で行っていく予定ですか。

(佐々木花巻図書館長)

「御次留書帳」については、4年計画でデジタル化する予定としております。

(白藤 祐三委員)

希望的なことでもありますが、大迫図書館の大型紙芝居はとてもいい活動ですし、子どもたちだけでなく、一般の大人も十分楽しめる内容であると見ていますが、資料によると60作品くらいはあるようですので、印刷物として集約して、1つの絵本集のような形で図書館で閲覧できるようにしていただけないものかと思います。

(吉田花巻図書館業務係長)

原稿はありますし、A3のものもありますので、絵本化するのであれば手製で作ることは可能と思います。

(市川 浜委員)

各館の重点事項に関してですが、各館の重点事項を伺うと地域に密着した活動とありますが、以前私が地域のコミュニティの代表をしていたときは、図書館との関わりがほとんどなかったと今になって反省しています。本の貸出しはもちろんですが、各地域との密接な図書館活動が必要になってきていると強く感じていますので、積極的に取り組んでいただきたいと思います。限られたスタッフの中で図書館から出向くのも難しいこともあるかと思いますが、それぞれのコミュニティがこのような連携に取り組むことも必要ではないかと考えています。

(佐々木花巻図書館長)

重点目標の中で掲げました視聴覚資料を活用した生涯学習の推進として、図書館に視聴覚ライブラリーとして映像資料等があり、これらを活用して生涯学習事業を行っているコミュニティ等もありますので、資料や機器の貸出しについてもっと積極的に情報を提供するとともに、現在映像資料はDVDが主流になってきていますので、DVDを手軽に使える機器等も台数を増やすなどして利用の促進を図っていきたいと思います。

(高橋 則子委員)

基本方針で、すべての花巻市民を対象に「地域を支える情報基盤」、「生涯学習の拠点」とありますが、各地域でいろいろなまちおこしをしている話が聞こえてきますと、やはり図書館がまちおこしに関する情報を発信することが必要ではないかと思います。ただ、祭りごとをする

ばかりでなく地域の歴史について図書館を中心にみんなで考えていければいいと思っています。

(門馬 優子委員)

来年度から正規職員が振興センターからいなくなって非常勤職員を配置するということのように、そうしますとますます生涯学習事業を誰が中心となってやってくのか危ぶまれますので、重点目標の1番目の生涯学習の推進ということがとても大事なことになると思います。そこで、視聴覚ライブラリーの利用増進を進めていくうえで、たとえば東和では各振興センターで保健推進委員や民生委員が中心となって元気なお年寄りが集まる場を作っていますので、いくらでも生涯学習につなげていける場がありますので、図書館がそのようなところにもっと力をいれていくべきときではないかと思っています。

(坂本 知彌会長)

具体的な明るい意見が出てきましたので、よろしくお願いします。

(佐藤 寧委員)

重点目標の子どもの読書活動の推進とサービス内容の検討の中の学校・保育園・幼稚園等との連携についてですが、私、矢沢小・中の学校医をしている関係で、保健委員会で講話をする機会がありますが、今、教育でメディアコントロールといって、過剰なテレビ、ビデオ、スマートフォンなどの利用によって、脳にダメージがあるという証拠が出てきていますので、図書館で行っているブックスタートや読み聞かせはメディアコントロール上も非常に良い事業であると思うので、もっと図書館のほうからさまざまな読書活動について学校等に働きかけることによって、子どもの読書活動と学校連携が生きてくるのではないかと思っています。

(佐々木花巻図書館長)

学校等の連携について、どのようにして連携を図っていけばいいのかももう少し具体的に考えていかなければと思っています。たとえば、今各学校等に文庫という形で、花巻市内の中学校11校のうち4校、小学校19校のうち14校、幼稚園・保育園では48施設中37施設、学童クラブについては18施設中11施設から希望により本を配布していますが、希望をしていないところにこちらからアクションを起こすとか、増えてきている中で今の職員だけの対応が可能かを、他市では学校と図書館のパイプ役として図書館推進員を設置している事例等も参考にしながら学校等との連携について検討してまいりたいと考えています。

(坂本 知彌会長)

石鳥谷図書館の企画展で行ったたろし滝展のパネルを地元の大瀬川振興センターに展示することですが、地元の子どもたちでもたろし滝の言われなど歴史を知らない子どもがいると思うので、学校に移動、巡回してはいかがでしょうか。

(小原石鳥谷図書館長)

そうですね。学校に巡回する方法も考えてみます。

(日下 明久美委員)

サービスの内容検討についてですが、利用実態や移動図書館車の運行範囲・運行計画を見直すとありますが、これは今各館で回っているコース全体を見直すのか、あるいは利用が少ないところを見直しするのか、もう少し具体的に説明をお願いします。

(佐々木花巻図書館長)

まずは、移動図書館の利用実態を把握したいと考えております。あとは、内部的なことになりますが、車両を各館1台合計4台を保有していますが、それぞれの稼働日数に差がありますことや車がだいぶ古くなってきているものもありますので、そのようなことも併せて検討していきたいと思っています。コースについても車両台数によっては当然検討が必要になってきます。

(日下 明久美委員)

移動図書館は、図書館に来ることができないけれども本を借りたい人等に利用していただいていると思いますが、今、介護施設がたくさんできており、本を読む環境が整っていない施設等もたくさんあり、今までとは違った新しい需要があると思います。

(佐々木花巻図書館長)

委員がおっしゃるとおり、そのような施設等も増えてきている状況にありますので、そのようなところの需要も把握しながら、組み入れていかなければならないものと考えております。現在、県内の図書館の移動図書館運行状況についてアンケート調査しているところですので、それらも参考にしながら検討してまいりたいと思います。

(坂本 知彌会長)

あとは、ご意見等ありませんでしょうか。ないようですので、その他の図書館資料の貸出数の検討について説明をお願いします。

### (3) その他 花巻市立図書館資料の貸出数の検討について

- ・ 佐々木花巻図書館長から、現在花巻市立図書館で貸出している図書館資料の貸出数について、利用者からの利用点数及び予約点数の増加要望があることや、インターネットによる予約件数が増加傾向にあることを受け、貸出冊数や予約点数を見直し、検討する必要があるため、資料に基づき現在の状況や検討すべき事項を説明し、意見を伺った。

### 【意見等】

(坂本 知彌会長)

説明をいただきましたので、ご意見等をお願いします。

(佐藤 三恵子委員)

私は、図書館に行って予約画面で予約をしますが、次の2週間後に借りた本の返却に併せて予約本を借りに行こうとしているところに、すぐに予約の本が入りましたとの連絡をいただくことがあります。小さい子どもがいるときなどは、なかなか頻繁に行けないときもあるので、希望日に予約本を受け取りできるような調整等はできないもののでしょうか。

(吉田花巻図書館業務係長)

お話のありました調整をするということは難しいと思われまます。というのは、予約は、順番で入れますし、予約本によっては貸出中で2週間後でなければ返ってこないものもありますので、予約順番で貸出ししています。

(坂本 知彌会長)

予約の連絡をして、その方が図書館に来館されるまでは、平均してどのくらい経ってから来られるのでしょうか。

(吉田花巻図書館業務係長)

さまざまで、すぐいらっしゃる方もおります。連絡してから1週間取り置きしていますのでその間に取りに来られます。

(坂本 知彌会長)

1週間までは取り置きして、それを過ぎると予約権利が消えるということですか。

(吉田花巻図書館業務係長)

はい。取り置き期間が過ぎた場合は、次の方に貸出しすること、再度予約をするかどうかについて連絡をしています。

(佐藤 三恵子委員)

予約した本を予約した人に渡すまでにすごく手間が掛かっていることがわかりました。ただ、今後予約の件数が増えてくれば、ますます業務が大変になるだろうと感じました。今人手でやっているようですが、機械化することはできないものなのでしょうか。

(菊池石鳥谷図書館上席主任)

直接カウンターに来ていただければ、いろいろお話を伺うことができますが、インターネット等で機械的に予約を入れられた場合はどうにもなりませんので、結果的に機械的に処理せざるを得ない状況になっています。

(佐藤 三恵子委員)

予約は、新しい分野のサービスですね。これからどんどん増えていくのではないのでしょうか。

(坂本 知彌会長)

予約した本の順番が来る期間を確認する方法はありますか。

(吉田花巻図書館業務係長)

予約の人数が出ますので、1人2週間で計算すれば、大体の期間がわかると思います。

(日下 明久美委員)

予約で本が回っている期間は、図書館に本がないということになりますよね。そうした場合、来館した人が借りられないという状況になりますよね。

(坂本 知彌会長)

そのときは、来館した人も予約をすることになるのではないのでしょうか。

(白藤 祐三委員)

予約を増やすと、図書館で見られない人が出てきますよね。予約してもなかなか連絡が来ないことがあります。たぶん期限を守っていない人がいることあるのではと思いますが、チェック等はどのようにしているのでしょうか。また、新刊本についてですが、出版されてから図書館で貸出しできるまでにどのくらい掛かるのでしょうか。

(吉田花巻図書館業務係長)

期限が過ぎた場合は、予約が入っているので至急返却いただきたい旨を連絡しています。また、新刊本は、地元書店や図書館流通センターから購入していますが、発注してから2週間くらいで入ってきますので、その後の貸出しとなります。

(坂本 知彌会長)

貸出しについては、いろいろな課題があり難しいですね。

(白藤 祐三委員)

急がないで検討していただきたいです。

(佐藤 三恵子委員)

予約は、新刊本とは限らないわけで、私は、古くても貴重な本を探して予約をして借りているので、このような借り方をしている人もいるということをお知らせいたします。また、買えない本や書店で売っていない本、4館にない本などを借受けする場合などで予約を利用している人もいると思うので、いろいろな状況を勘案して検討してほしいです。

(坂本 知彌会長)

他市の図書館と比較しても、貸出し点数が特別少ないわけでもないようですし、なかなかこれといった結論も出ないようですので、職員の手間隙が掛かることも考慮しながら時間をかけていろいろな角度から検討していただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員)

よろしいです。

(坂本 知彌会長)

それでは、本日の議題のすべてを終了いたします。

(佐藤花巻図書館副館長)

貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。

事務局からはその他は特にございませんが、全体的に何かございましたらお願いしますが、ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、長時間大変ご苦勞様でした。以上を持ちまして平成26年度第3回花巻市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。